

答 候補者の政策等や有権者が知る機会を拡充することを目的とする。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第2号)(総務文教委員会所管分) 問 市民会館舞台装置等改良事業の設計委託料の内容について。

答 冷水水発生機の冷却塔オーバーホール、受電設備・蓄電池の更新、各室のパッケージエアコンの更新、音響、照明装置等の更新等である。



▲舞台装置等の更新を予定している市民会館(大ホール)

問 消防団へ配備する備品の選定について。

答 東京都町村総合交付金、政策連携消防団活動の充実の対象の基準に照らし、消防団に必要なものを聞いて予算化。

問 ふるさと人づくりまちづくり基金への積立金、平成29年度に比べて約10倍近く増えているが、

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め6回開催されました。

議会運営委員会 行政視察報告

議会運営委員会の先進行視察を報告します。 市視察を報告します。 文を市議会ホームページに掲載しています。

視察目的 議会のタブレット端末導入について

視察先 ①千葉県木更津市 ②東京都多摩市

視察日 ①平成30年7月12日(木) ②平成30年7月26日(木)

①木更津市では、議会に先駆け執行部側で先にタブレット端末を会議で使用するために導入し、その後、議会側は「iPad」と会議システム「サイドボックス」の導入に至っている。このシステム以外にもスケジュール管理や連絡用、また、資料配布用に有料のグループウェアを導入している。

導入後は膨大な資料を持ち歩くことがなくなり、議会においてもほとんどの議員がタブレット端末一つを持ち、会議に出席

しているということである。紙の資料の削減もすることながら、議員の事務活動の充実・職員の仕事の削減も大きいとしている。

②多摩市では、平成29年5月から議会側で「iPad」の導入が始まり、執行部側はすでに別の形で会議が行われているため導入がされていないということである。議会に対応する職員は様々な会議において資料作成、必要部数のコピー、議会側に持ち込み、議員に配付といった膨大な業務が必要であったが、タブレット端末導入により、職員は自席に居ながら対応するデータを送るだけとなり、通常業務をこなしながら資料送付できることは大きな効果とされている。

いずれの視察においても、議会側だけではなく執行部側の業務量の削減効果も大きいことが参考となった。



▲千葉県木更津市を視察

特別委員会活動から...

まちの魅力づくり 対策特別委員会

9月19日に委員会が開かれ、前回に引き続き今定例会最終日に審議予定の(1)第一回調査結果報告書(案)「富士見通りについて」の提言内容について最終取りまとめ及び新たな観光資源の創出について協議しました。主な内容は次のとおりです。

◇富士見通りについて

提言5「魅力的な看板の設置」については、エリア内は英語表記を中心とすることを提言。

提言6「特色ある街路樹」については、アメリカンな街並みに馴染む樹木を基本とし、樹木の単価や、維持管理、気候の適合性、道路や歩道幅員と樹木のバランスなど総合的に勘案し決定することを提言。

提言7については、休み処として景観に合ったベンチ等の設置を提言。標題は「やさしいまちづくり」とする。

また、一部提言順序の入れ替えを行い、富士見通りの最終提言案が決定しました。(提言については、6面に掲載)

◇新たな観光資源の創出について

「和の文化」については、新たに両酒蔵周辺

無電柱化が提案された。

「洋の文化」については、地の利を生かした本場の英語体験や米ドルでの買い物など、洋の文化体験の場の充実を図ることが確認された。

「多摩川流域(沿い)の魅力づくり」については、従前どおりサイクリスト等を対象としたカフェやサイクルステーションの設置が確認された。

また、片倉跡地の活用として、平成36年(2024年)の福生消防署庁舎解体後、土地所有者の東京都と一体となって、熊川分水を活かした公園やサイクルステーション等を併設した道の駅などの経済効果につながる施設の検討が確認された。



▲市内を流れる熊川分水

「情報発信及び環境整備」については、前回同様、市内の企業、店舗等の体験型観光資源のインターネット情報を一元化し、分りやすく情報発信

することや駅周辺及び観光スポット周辺のWi-Fi環境整備の必要性が確認された。

横田基地対策 特別委員会

9月25日に委員会が開かれ、3件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地日米友好祭について

9月15日(土)及び16日(日)に開催された友好祭について、次のような報告がありました。

①入場者数は、14万5千人で、昨年の7万5千人を大きく上回った。

②市は横田基地に対し、友好祭における安全確保等について要請を行うとともに、市ホームページで来場者の利用駅の案内について掲載した。

2 横田基地に関する情報等について

6月15日から9月25日までの報告がありました。主な内容は次のとおりです。

①6月23日にCV-22オスプレイ4機が、7月4日に1機が横田基地に一時飛来した。その後5機は横田基地にとどまり、8月22日に国から、5機のCV-22オスプレイを10月1日から横田基地に配備することが公表された。

②7月と8月に、沖縄県への台風接近に伴う緊急

避難で戦闘機や輸送機等が横田基地に飛来すると国から情報提供を受けたため、基地周辺5市1町から米軍に対して、市街地上空での低空・旋回飛行は行わないこと等の要請を行った。

③8月20日から24日にかけて横田基地において演習(サムライ即応監査)が実施されたが、航空機の運用は無かった。

④人員降下訓練が8月と9月に行われた。

⑤8月21日夜間に横田基地におけるエンジンテストが実施された。航空機騒音の苦情が2件寄せられた。

⑥9月25日に横田基地へのCV-22オスプレイの配備に関し東京都と福生市をはじめとする横田基地周辺市町から防衛大臣、外務大臣、横田基地司令官に対し、要請を行った。

3 国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について

総務省に対する要望事項等を協議しました。

編集後記

福生市の木に指定されているキンモクセイは、江戸時代に日本に渡り、オレンジ色の小さな花をたくさん咲かせることや甘い香りを漂わせることなどから、料理や菓子作りに使われることも多く、人々の生活に近いところで楽しまれてきました。9月議会が終わるころ、その香りが市内で感じられるようになりました。

9月議会では平成29年度決算審査も行われ、公会計制度を導入してから2回目の決算審査となりました。事業ごとに総括がされたことや、前年度との経年の変化も見ることもできるようになったことなどから、質問のポイントも変わり始めたように感じました。また、そうした質疑から、今後どのように各事業に取り組むかをされるのかなど、先を見た質疑もされました。こうした議論を重ねることで、決算の数字だけでなく評価するのではなく、事業の目的や手段、また、真に市民のための事業となっているのか確認していくことが大切だと思います。

本会議の傍聴だけではなく委員会の傍聴もできますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。